

# Android 開発環境インストール手順

## 1. 開発環境の構成

Android アプリケーションを開発するための環境は、次の 4 つにより構成されます。

- Java SE Development Kit
- Eclipse
- Android SDK
- ADT プラグイン for Eclipse

## 2. Java SE Development Kit のインストール

Java SE Development Kit は次のサイトからダウンロードできます。

- <http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html>

ご自身の PC に適合するプラットフォームのものをインストールしてください。  
インストールディレクトリはデフォルトを推奨します。

## 3. Eclipse のインストール

Eclipse は次のサイトからダウンロードできます。

- <http://www.eclipse.org/downloads/>

現在の最新バージョンは Eclipse Helios (3.6) ですが、本講座では Eclipse Galileo (3.5) の使用を推奨します。上記サイトから Java 開発用のパッケージである、「Eclipse IDE for Java Developers」もしくは「Eclipse Classic」を選択してインストールしてください。  
64bit 版 JDK をインストールした方は、必ず x86\_64 版のパッケージを選択してください。

ダウンロードしたファイルは ZIP 形式で圧縮されています。任意のディレクトリに展開することでインストールは完了です。

インストールディレクトリは C:\eclipse を推奨します。

本講座では標準環境である英語を推奨しますが、Eclipse の日本語化をご希望の方は以下の手順で言語パッケージをインストールしてください。

イ) 「Help」メニューの「Install New Software」より次の URL を指定します。

- <http://download.eclipse.org/technology/babel/update-site/galileo>

ロ) 一覧から日本語を選択して言語パッケージをインストールします。

## 4. Android SDK のインストール

Android SDK は次のサイトからダウンロードできます。

- <http://developer.android.com/sdk/index.html>

最新の安定版をインストールしてください。

ダウンロードしたファイルは ZIP 形式で圧縮されています。任意のディレクトリに展開することでインストールは完了です。

インストールディレクトリは C:\¥Android-SDK を推奨します。

## 5. ADT プラグイン for Eclipse のインストール

ADT プラグインを Eclipse 上からインストールします。

- イ) 「Help」メニューの「Install New Software」を選択します。
- ロ) 「Install」ダイアログの「Add」ボタンを押下します。
- ハ) 「Add Site」ダイアログに以下の情報を入力し、「OK」ボタンを押下します。

Name: 自由入力（ここでは「ADT」を推奨）

Location: <https://dl-ssl.google.com/android/eclipse/>

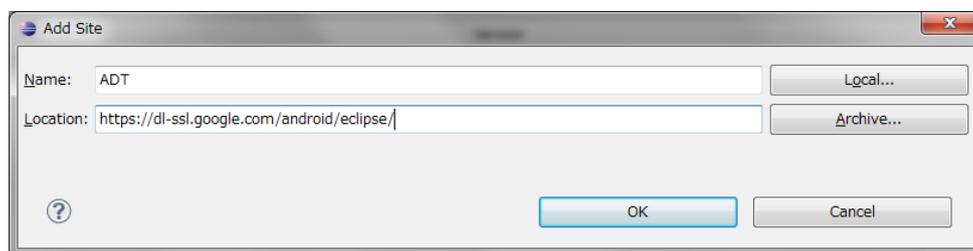


図 1 ADT の追加

- ニ) 「Developer Tools」が追加されるので、チェックして「Next」ボタンを押下します。

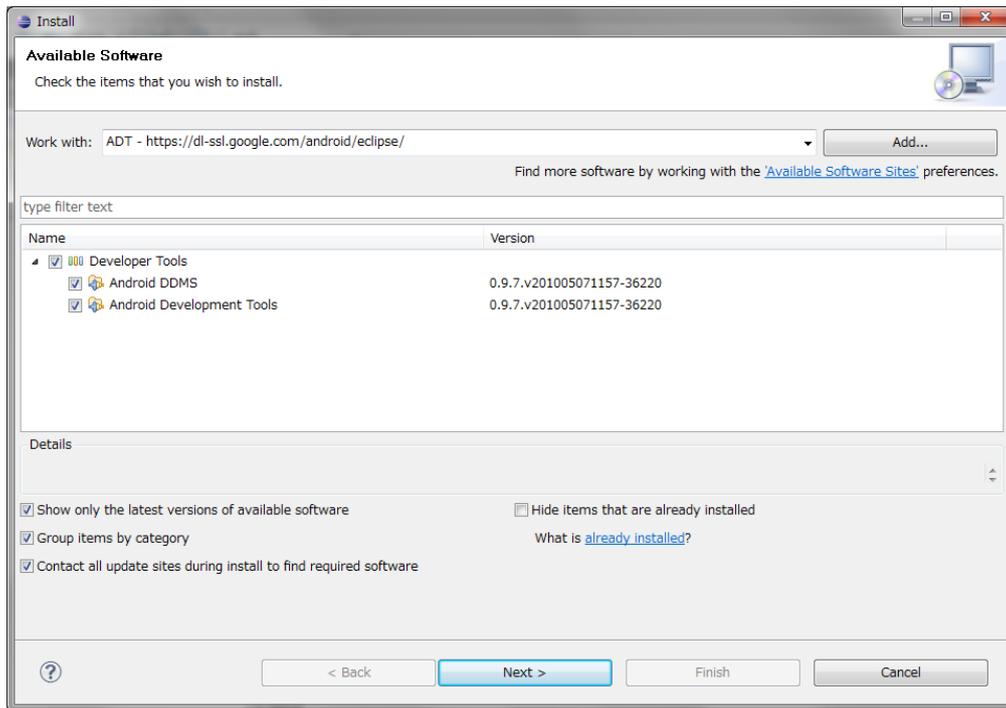


図 2 Developer Tools の選択

ホ) インストールの詳細を確認して「Next」ボタンを押下します。

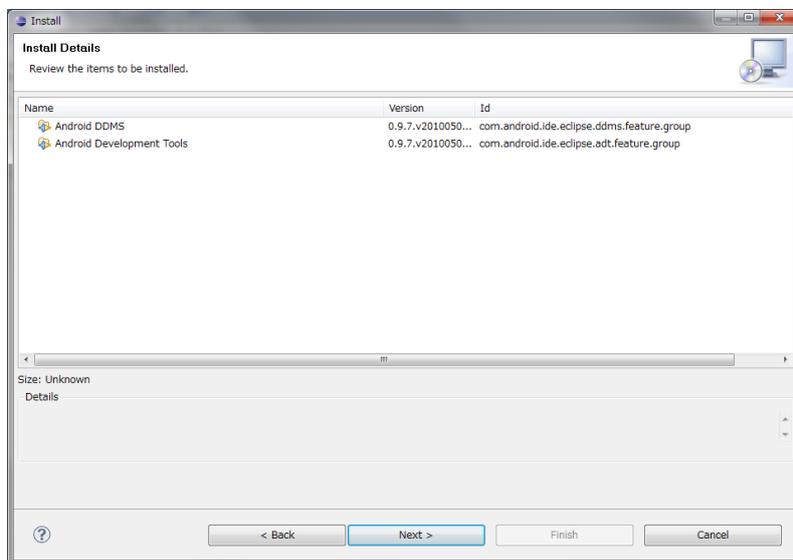


図 3 インストールの詳細

へ) ライセンスを確認して「I accept the term of the licence agreements」を選択し、「Finish」ボタンを押下します。

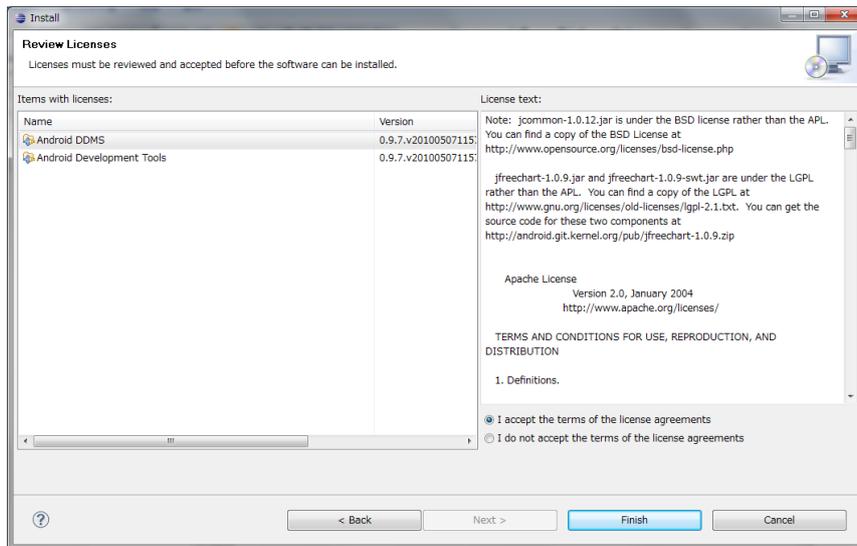


図 4 ライセンスの確認

ト) 「Security Warning」ダイアログで「OK」ボタンを押下し、「Selection Needed」画面を表示します。



図 5 セキュリティ警告

チ) 「Select All」ボタンを押下した後「OK」ボタンを押下します。

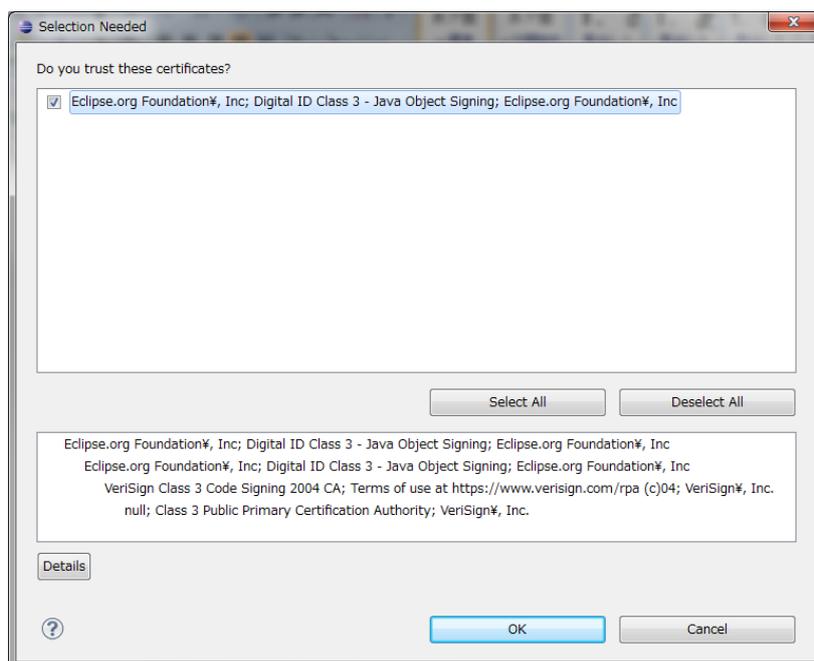


図 6 信頼する証明書の選択

リ) Eclipse の再起動が要求されるので「Yes」を押下します。

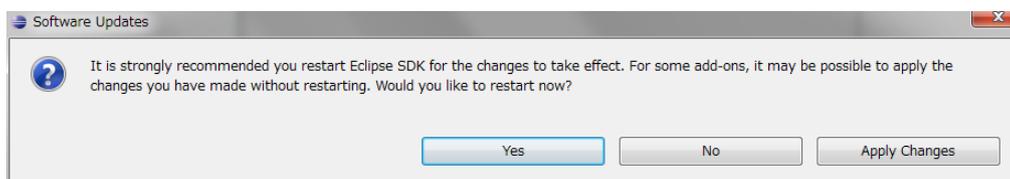


図 7 Eclipse の再起動

## 6.ADT プラグイン for Eclipse の設定

ADT プラグインのインストールが終わったら、Android SDK のインストールディレクトリを設定します。この設定は、Eclipse のメニューから行います。

- イ) 「Window」メニューの「Preferences」を選択します。
- ロ) 「Preferences」ダイアログの「Android」を選択すると警告ダイアログが出るので「OK」ボタンを押下します。

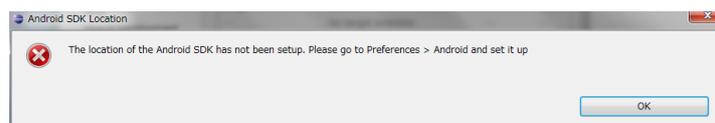


図 8 ADT プラグインの警告

- ハ) 「Browse」 ボタンを押下して Android SDK をインストールした場所（ここでは C:\¥Android-SDK）を選択します。

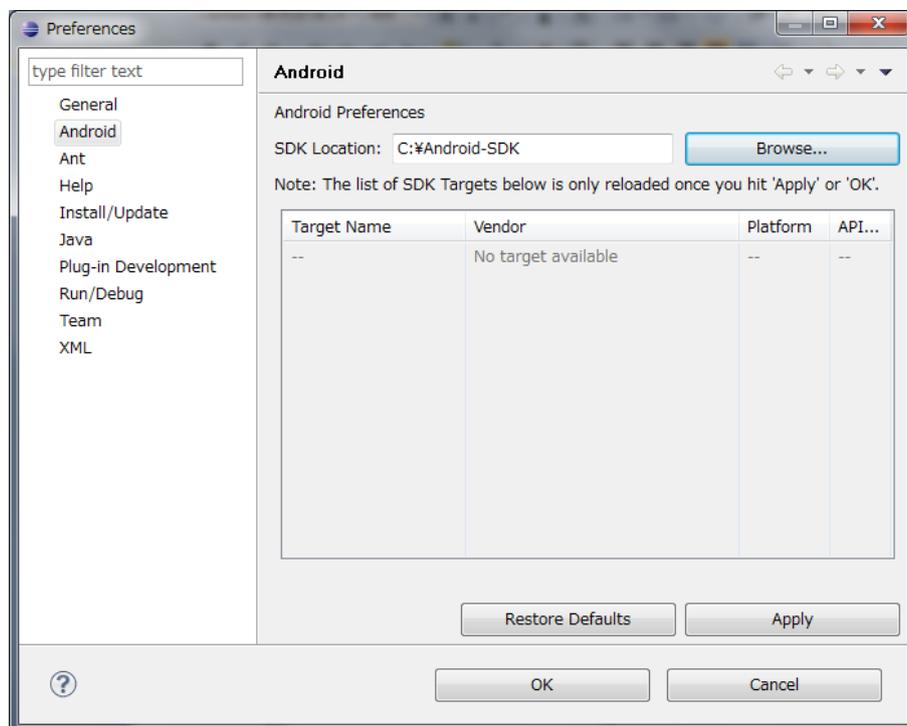


図 9 ADT プラグインの初期設定

- ニ) 「OK」 ボタンを押下して「Preferences」ダイアログを閉じます。

## 7.SDK Platform のインストール

Android の各バージョンの開発環境を入手するため、「Android SDK and AVD Manager」を使って SDK Platform をインストールします。

- イ) 「Window」メニューの「Android SDK and AVD Manager」を選択します。  
ロ) 「Accept All」にチェックを入れます。

SDK Platform のほかに選択される Google APIs は、Gmail や Google マップなどの Google アプリケーションが入ったプラットフォームです。

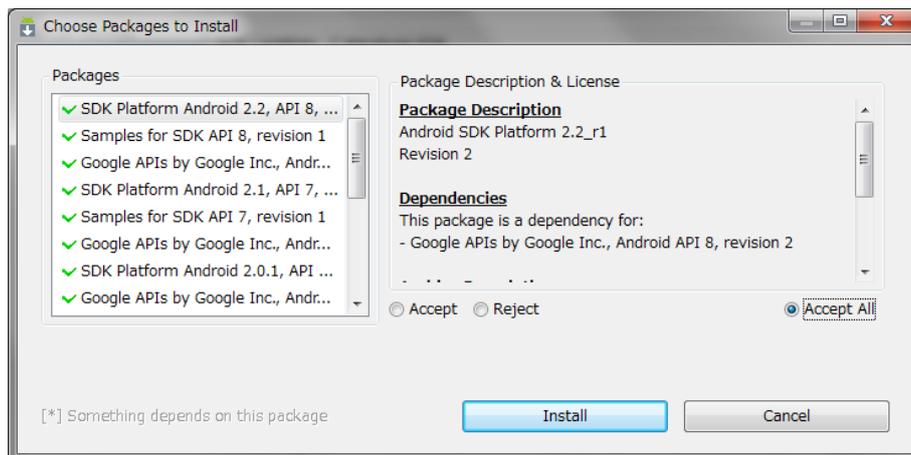


図 10 SDK Platform の選択

ハ) 「Install」 ボタンを押下して SDK Platform のダウンロードを開始します。

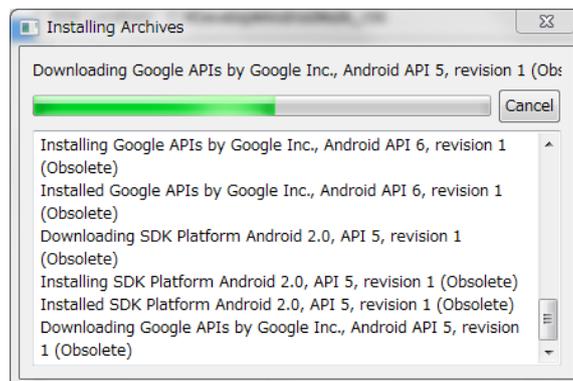


図 11 SDK Platform のインストール

ニ) ダウンロードが完了したら ADB の再起動が要求されます。「Yes」を押下してください。

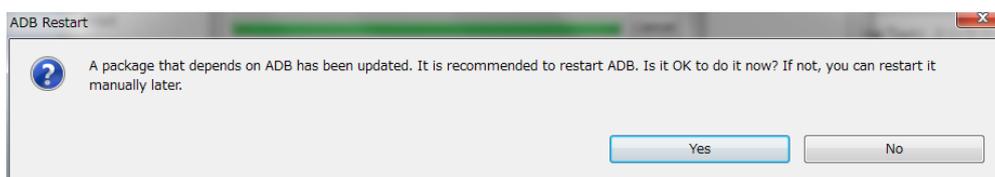


図 12 ADB の再起動

## 8. Android Virtual Devices(AVD)の作成

Android Virtual Devices(AVD)とは、LCD サイズや画面解像度、OS バージョンなどの構成を指定して作成した、エミュレータの実行環境です。

AVD の作成は、Eclipse 上の「Android SDK and AVD Manager」から行います。

- イ) 「Window」メニューの「Android SDK and AVD Manager」を選択します。
- ロ) 左部メニューで「Virtual Device」を選択し、「New」ボタンを押下します。

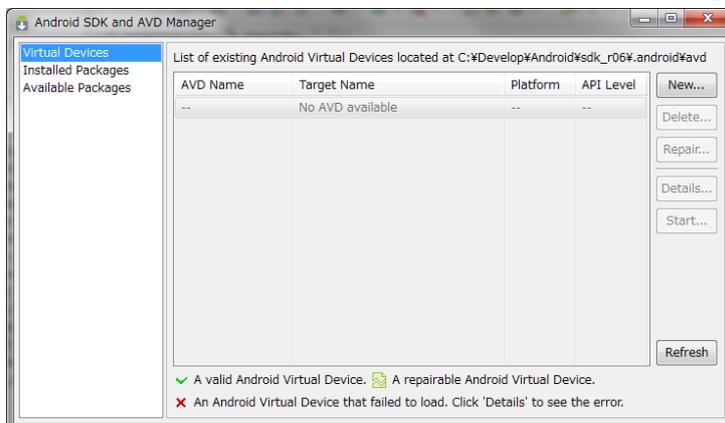


図 13 Android SDK and AVD Manager

- ハ) AVD の構成情報を入力します。例として 32MB の SD カードを持つ Xperia 相当 (Android 1.6、解像度 854×480) の AVD を作ります。  
 Name: 自由入力 (ここでは「XperiaAVD」を推奨)  
 Target: 「Android 1.6 – API Level 4」を選択  
 SD Card: 「Size」を選択して「32」を入力。単位は「MiB」を選択  
 Skin: 「WVGA854」を選択

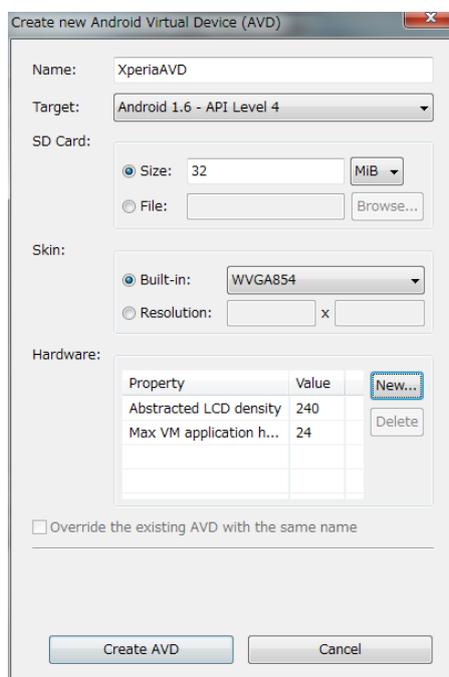


図 14 AVD の新規作成

- ニ) AVD に SD カードのサポートを追加します。Hardware の「New」ボタンを押下し、「SD Card Support」を選択して「OK」ボタンを押下します。

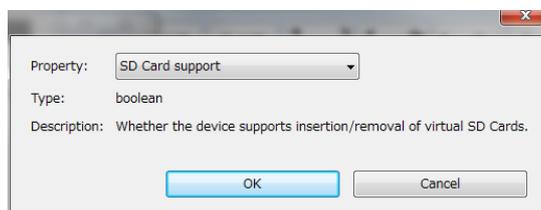


図 15 SD カードのサポートの追加

- ホ) 「Create AVD」ボタンを押下して AVD を作成します。  
へ) 作成した AVD を選択後「Start」ボタンを押下して、作成した AVD を起動します。

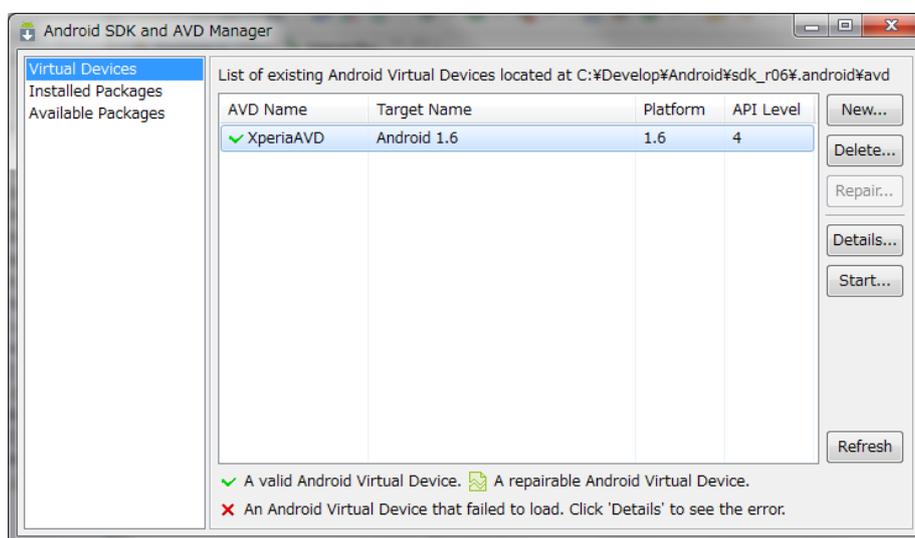


図 16 AVD の起動